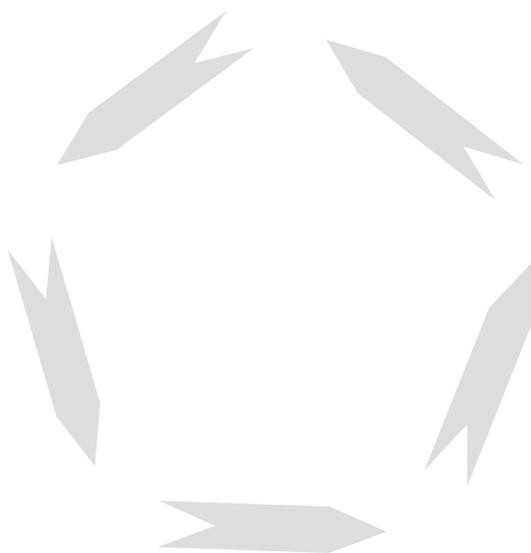


不動産鑑定士

2027 年合格目標
論文初学者対象講座
受講ガイド



はじめに

拝啓 時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度はLEC不動産鑑定士講座をお申込いただきまして、誠にありがとうございます。

本冊子はLEC不動産鑑定士講座を有効に活用していただくためのご案内です。講座を受講する前に必ず本冊子をご一読ください。各講座の特徴や具体的なカリキュラム、学習スケジュール等を記載しています。

なお、本冊子は発行日現在のものであり、事前の予告なしに変更等する場合がございますので予めご了承ください。

講座に関するお知らせや、訂正・改正情報等の最新情報は、LEC不動産鑑定士サイトに掲載いたします。こちらも定期的にご確認くださいませようようお願い申し上げます。

LEC不動産鑑定士サイト <https://www.lec-jp.com/kanteishi/>



皆様の合格をLEC講師・スタッフ一同心よりお祈り申し上げます。

敬具

2026年2月吉日

LEC東京リーガルマインド

不動産鑑定士課

Contents

学習をはじめる前に	2
学習の進め方 論文合格コース	4
通信・通学スケジュール	12
各種ご案内	14
「答練・模試」受講上の注意事項	16
My ページ等に関しまして	18

学習をはじめる前に

◎ 受講証について

お申込受付後に受講証を配布いたします。受講証は、受講証番号と会員番号が記載されています。講座に関するお問合せや、マークシート・論文答案提出の際などに必要となります。また講座受講の証明となるもので、今後「割引制度」をご利用して、各種講座をお申込する際にご提示いただくことがございます。大切に保管してください。

万一、お受け取りになられていない場合は、お申しいただいた LEC 各本校窓口、もしくは、下記 LEC コールセンターまでお問合せください。

なお、弊社『LEC On-line』で、通学講座を全く含まない通信講座（【通信】全て通信など）をお申込の場合は、「受講証」は発行されず、お申込時に弊社より送信されたメール（件名：「LEC On-line【重要】ご確認ください。ご注文手続完了のご連絡です」）をもって「受講証」の代わりにさせていただきます。上記メールには、「受講証番号」と「会員番号」等、今後講座を受講いただく上で必要となる情報が記載されていますので、大切に保管してください。

◎ 教材の発送について

教材の発送は、通信スケジュールに沿って発送いたします（P12 を参照してください）。原則、発送開始日から数日でお届けいたします。発送開始日から一週間以上過ぎても届かない場合は、お手数をかけいたしますが、下記 LEC コールセンターまでお問合せください。

LEC コールセンター

0570-064-464（ナビダイヤル）

固定電話・携帯電話共通（PHS・IP 電話からはご利用できません。）

受付時間：平日/9：30～19：30 土・日・祝/10：00～18：00

※通話料金はおお客様負担となります。予めご了承ください。

◎ 受験願書のお取寄せ・出願について

例年、せっかく学習してきたにもかかわらず、受験願書を提出し忘れて受験できない方がいらっしゃいます。受験願書のお取り寄せ・出願は、ご自身で行ってください。なお、願書の配布は例年2月上旬から3月上旬であることが通常です。

願書のご提出は忘れずに！

試験に関するお問合せ先

国土交通省 不動産・建設経済局 地価調査課 不動産鑑定士係
TEL：03-5253-8378

実務修習に関するお問合せ先

公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会 実務修習担当課
TEL：03-3434-2301

◎論文対策講座「鑑定理論」演習における電卓使用について

論文対策講座「鑑定理論」において、演習問題を扱う下記の講座では、電卓を使用して講義・答練を行います。お手数ですが、各自ご用意をお願いいたします。

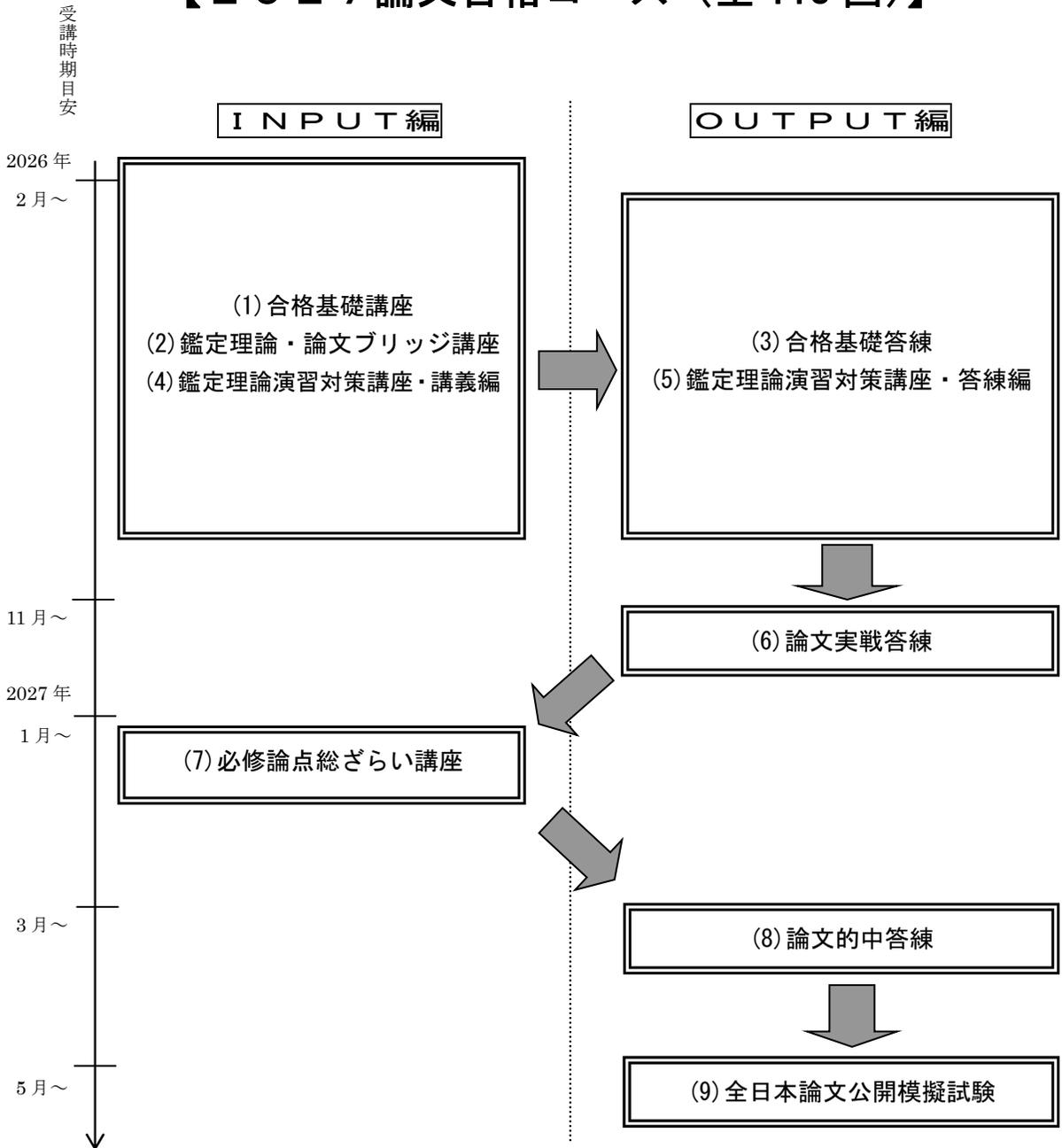
講座名	該当する講義回
鑑定理論演習対策講座・講義編	全6回
鑑定理論演習対策講座・答練編	全2回
論文実戦答練	第4回・第5回
必修論点総ざらい講座	第5回
論文的の中答練	第4回・第5回

なお、電卓をお選びいただく際のポイントは次の通りです。

1. 概ね12桁まで計算できるもの。
2. 数字の表示が大きく見やすいもの。
3. 最低限「GT機能」「メモリー機能」がついているもの。
4. ソーラーパワーだけでなく、電池も内蔵しているもの。
5. 紙に記録する機能及びプログラム入力又はプログラム記憶機能のない、計算機能のみのもの（関数電卓は不可）

学習の進め方

【2027論文合格コース（全118回）】



※ 各講座の受講時期はあくまでも目安です。受講開始時期により異なります。

「論文合格コース」 具体的な学習の進め方（LEC推奨スケジュール）

まずは、基礎的な知識を取得するため、(1) **合格基礎講座（民法・経済学・会計学）**を受講してください。(1) 合格基礎講座の各科目の受講と復習を終えたタイミングで(3) **合格基礎答練（民法・経済学・会計学）**を受けて、論文式試験ではどのように記述していけばいいのか、基礎的な問題を使って実際に答案を書いてみてください。

鑑定理論は、短答対策としてひと通り学習済みであることを前提に、(2) **鑑定理論・論文ブリッジ講座**を受講して、短答で学習した鑑定理論の知識を論文式試験ではどのように書いていけばいいのか、基礎的なテクニックを学びます。その後、(3) **合格基礎答練（鑑定理論）**を受けて、実際に答案を書く練習を行います。さらに、(4) **鑑定理論演習対策講座・講義編**を受講した後に(5) **鑑定理論演習対策講座・答練編**を受けて、演習の独特な出題形式に慣れます。

ここまで終えたら、全4科目ともに、実際の本試験でそのまま書ける論証例集「こう書け！」シリーズを使って（なお、鑑定理論については、基準・留意事項の暗記を合わせて進めていきます）、論証力の定着を図ります。

上記のインプット講座を中心とした学習を年内までに（どんなに遅くとも受験年の2月までに）ひと通り終わらせるようにしてください。

これ以降は、本格的なアウトプット講座を中心とした学習にシフトします。最初に(6) **論文実戦答練**を受けて基礎力の確認と応用力を磨きます（余裕があれば年内までに）。次に、(7) **必修論点総ざらい講座**を受講して今まで学習してきたことを文字通り総ざらいします。そして論文対策の答練としては最後となる(8) **論文中答練**を受けて、本試験レベルで出題可能性の高い問題を解きます。

直前期（受験年の4月以降）は、各種答練や必修論点総ざらい講座で扱った出題分野の復習を中心に、「こう書け！」シリーズを使用した論証例や鑑定理論の基準・留意事項の暗記の精度を高めていきます。そして最後の総仕上げとして(9) **全日本論文公開模擬試験**を受けて、知識の再確認を行います。

上記の学習の進め方は、あくまで一例です。通学クラスの方は、通学スケジュールに沿って学習をこなしていただければ十分に最終合格できる知識が身に付いていきます。また、通信クラスの方でも、通学クラスのスケジュールを参考にして学習を進めていく方法もございます。

科目別カリキュラムの流れと学習時間の目安 ※講義時間込み

<鑑定理論> 約 950 時間

基礎期

- (2) 論文ブリッジ講座→(3) 合格基礎答練→
- (4) 演習対策講座・講義編→(5) 演習対策講座・答練編

完成期

- (6) 論文実戦答練→(7) 必修論点総ざらい講座→(8) 論文的中答練→
- (9) 全日本論文公開模擬試験

<民法> 約 400 時間

基礎期

- (1) 合格基礎講座→(3) 合格基礎答練

完成期

- (6) 論文実戦答練→(7) 必修論点総ざらい講座→(8) 論文的中答練→
- (9) 全日本論文公開模擬試験

<経済学> 約 350 時間

基礎期

- (1) 合格基礎講座→(3) 合格基礎答練

完成期

- (6) 論文実戦答練→(7) 必修論点総ざらい講座→(8) 論文的中答練→
- (9) 全日本論文公開模擬試験

<会計学> 約 300 時間

基礎期

- (1) 合格基礎講座→(3) 合格基礎答練

完成期

- (6) 論文実戦答練→(7) 必修論点総ざらい講座→(8) 論文的中答練→
- (9) 全日本論文公開模擬試験

論文対策・各講座のご案内

(1) 合格基礎講座（全 54 回）

【講義時間：約 2.5 時間（約 35 分×4 ユニット）】

【民法】（全 18 回）

使用教材：合格基礎テキスト（民法）、民法条文集

復習用教材：「こう書け！」（民法）

【経済学】（全 18 回）

使用教材：合格バイブル、合格基礎テキスト（経済学）

復習用教材：「こう書け！」（経済学）

【会計学】（全 18 回）

使用教材：合格基礎テキスト（会計学）

復習用教材：「こう書け！」（会計学）

<概要>

この講座では、各科目の全体構造とその科目の幹となる部分を理解することからスタートしますので、合格に必要な知識を無理なく確実に習得することができます。試験合格に必要な知識は、各科目の特性に応じて体系的に身に付ける必要があります（論理的思考力）。そのためには、まずは幹となる部分を確実に理解することが重要です。その上で、枝葉の知識を習得しなければ使える知識にはなりません。

また、この後に受ける、答練・模試などの全ての基礎となる講座ですから、1 つ 1 つの講義を大切に、集中して受講してください。

(2) 鑑定理論・論文ブリッジ講座（全 4 回）

【講義時間：約 2.5 時間（約 35 分×4 ユニット）】

使用教材：論文ブリッジテキスト、合格基礎テキスト（鑑定理論）

復習用教材：「こう書け！」（鑑定理論）

<概要>

この講座は、鑑定理論の基礎的な学習を終えている方（「合格基礎講座（鑑定理論）」等の受講を終えている方）を対象にした講座です。鑑定理論は、短答と論文で問われる知識に大きな違いはありません。一番の違いは、問われ方（短答：マークシート式、論文：記述式）にあります。

この講座では、短答で学習した鑑定理論の知識を、論文式試験ではどのように書いていけばいいのか、基礎的なテクニック（答案構成の仕方）などを学びます。

※2026 年 12 月 31 日までにお申し込みをされた方は、申込特典「2026 短答スーパー速習講座（鑑定理論）【Web 視聴】」10 回分を受講した後に、本講座を受講していただくことをお勧めします。その際、教材は「2027 合格基礎テキスト（鑑定理論）」を流用してください。

(3) 合格基礎答練（全 8 回） ※答案提出・添削あり

【答練・解説講義時間：講義 約 50 分→答練 60 分→解説講義 約 20 分】

【鑑定理論】（全 2 回）

使用教材：問題用紙、解答用紙、解説冊子

【民法】（全 2 回）

使用教材：問題用紙、解答用紙、解説冊子

【経済学】（全 2 回）

使用教材：問題用紙、解答用紙、解説冊子

【会計学】（全 2 回）

使用教材：問題用紙、解答用紙、解説冊子

<概要>

この答練では、まず問題 1 を扱った解説講義を受講します。そして、問題 1 の類似問題となる問題 2 の答案を作成します。最後に、問題 2 の解説講義を受講します。

具体的には、各科目特有の書き方を学ぶこと、(1) 合格基礎講座 (2) 鑑定理論・論文ブリッジ講座で学習した知識を、答案上に再現する答案構成力・表現力を身に付けることが目標ですので、答練の出来不出来よりも復習を重視してください。

なお、作成した答案については、必ず添削指導を受けてください。全ての答練・模試に言えることですが、解答例と付け合わせをするだけでは十分な学習効果が得られません。実際に作成した答案がどのように評価・採点されるのか、普段から意識する学習を心がけてください。

(4) 鑑定理論演習対策講座（講義編）（全 6 回）

【講義時間：約 2.5 時間（約 35 分×4 ユニット）】

使用教材：演習対策テキスト ※電卓を使用します

<概要>

講義編では、鑑定理論の計算問題といえる演習問題について、「演習対策テキスト」を使用して、問題文の読み方、基本となる計算処理方法、電卓の効率的な使用方法等を身に付けていただきます。

「演習対策テキスト」には数多くの例題が掲載されていますので、復習においてはそれらの例題を繰り返し解いて、演習問題の基本となる計算処理を正確に、かつ、迅速に行えるようにしてください。

(5) 鑑定理論演習対策講座（答練編）（全2回） ※答案提出・添削あり

【答練・解説講義時間：答練120分→解説講義 約50分】

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙 ※電卓を使用します

<概要>

答練編では、(4) 鑑定理論演習対策講座・講義編で学んだ、計算処理の方法等を2時間の答練を通じて、陥りやすい計算ミスや問題文の的確な読み方等を認識することを目的としています。

この答練は、初学者でも解きやすいように基礎的な問題を出題します。今後の実戦的な答練に向けた練習台として、(3) 合格基礎答練と同様に、必ず添削指導を受けてください。

(6) 論文実戦答練（全14回） ※答案提出・添削あり

【答練・解説講義時間：答練120分→解説講義 約50分】

【鑑定理論】（全5回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙 ※第4回・第5回の答練で電卓を使用します

【民法】（全3回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

【経済学】（全3回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

【会計学】（全3回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

<概要>

この答練では、本試験と同様に各科目2時間で2問（演習は1問）の時間配分で実戦的な問題を解き、(1) 合格基礎講座 (2) 論文ブリッジ講座で培った知識を、答案上に表現できる知識になっているかを確認します。

この段階では、徐々に各科目の答案構成のイメージができることを目標にしてください。ただ、まだ自分に実力が備わっていないと不安になり、この講座を受け控えてしまう方が毎年いらっしゃいます。実際に時間を計って問題を解き、思うように答案が書けなくても、本答練を受講することにより、これからどのような学習をしなければならないのか見えてくるものもあります。上記 (1)～(5) の講座・答練を受講・復習までをひと通り終えたら、早めを受講するようにしてください。そして、必ず添削指導を受けてください。

(7) 必修論点総ざらい講座 (全 14 回)

【講義時間：約 2.5 時間 (約 35 分×4 ユニット)】

【鑑定理論】 (全 5 回)

使用教材：必修論点総ざらいテキスト (鑑定理論) ※第 5 回目の講座で電卓を使用します

【民法】 (全 3 回)

使用教材：必修論点総ざらいテキスト (民法)

【経済学】 (全 3 回)

使用教材：必修論点総ざらいテキスト (経済学)

【会計学】 (全 3 回)

使用教材：必修論点総ざらいテキスト (会計学)

<概要>

この講座では、今まで学習してきた論文科目の基本論点や特に重要な論点、また、本試験に出題が予想される論点を、問題集形式のテキストを用いて総ざらいします。忘れかけていた知識やあやふやな分野を、もう一度確認することで確実に合格に近づくことができます。

また、いわゆる B ランクと呼ばれる、普段の学習ではカバーしきれないような細かな論点もこの講座で扱います。

本試験を意識して、直前期の学習の指針として活用してください。

(8) 論文中答練 (全 14 回) ※答案提出・添削あり

【答練・解説講義時間：答練 120 分→解説講義 約 50 分】

【鑑定理論】 (全 5 回)

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙 ※第 4 回、第 5 回の答練で電卓を使用します

【民法】 (全 3 回)

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

【経済学】 (全 3 回)

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

【会計学】 (全 3 回)

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

<概要>

(7) 必修論点総ざらい講座を受講した後、知識を正確に思い出せるか、限られた時間内に答案を作成できるかを確認するとともに、本試験で出題が予想される論点を確実なものとする講座です。近年の出題傾向・試験委員を踏まえた本試験レベルの問題を出題します。

科目によっては歯ごたえのある問題を出題することもあります。今までの学習で培ってきた知識をもとに、絶対に白紙にしないことを心がけて答案作成力を高めてください。これが最後の答練となります。必ず添削指導を受けてください。

(9) 全日本論文公開模擬試験（全2回） ※答案提出・添削あり

【模試・解説講義時間】

民法：模試 120 分→解説講義 約 30 分

経済学：模試 120 分→解説講義 約 30 分

会計学：模試 120 分→解説講義 約 30 分

鑑定理論（論文Ⅰ）：模試 120 分→解説講義 約 30 分

鑑定理論（論文Ⅱ）：模試 120 分→解説講義 約 30 分

鑑定理論（演習）：模試 120 分→解説講義 約 30 分

使用教材：問題用紙（各科目）、総合解説冊子、解答用紙（各科目）

<概要>

本講座において、論文式試験に向けての総決算をします。本試験レベルの問題を直前期に解いていただくことで、現時点での合格可能性を判定します。そして、この合格可能性をもとに本試験までに学習すべき事項を再確認してラストスパートの指針としてください。

通信クラスの方は、論文式試験と同様の時間帯・日程で解いてみることを強くお勧めします。

2027年受験向け 水道橋本校 通学クラス スケジュール(論文対策)

■合格基礎講座

5月生			
生クラス			
科目	回数	10:00~12:30① 13:30~16:00②	
経済学	1	2026. 6. 27(土)	①
	2	6. 27(土)	②
	3	7. 4(土)	①
	4	7. 4(土)	②
	5	7. 11(土)	①
	6	7. 11(土)	②
	7	7. 18(土)	①
	8	7. 18(土)	②
	9	7. 25(土)	①
	10	7. 25(土)	②
	11	8. 15(土)	①
	12	8. 15(土)	②
	13	8. 22(土)	①
	14	8. 22(土)	②
	15	8. 29(土)	①
	16	8. 29(土)	②
	17	9. 5(土)	①
	18	9. 5(土)	②
会計学	1	10. 3(土)	①
	2	10. 3(土)	②
	3	10. 10(土)	①
	4	10. 10(土)	②
	5	10. 17(土)	①
	6	10. 17(土)	②
	7	10. 24(土)	①
	8	10. 24(土)	②
	9	10. 31(土)	①
	10	10. 31(土)	②
	11	11. 7(土)	①
	12	11. 7(土)	②
	13	11. 14(土)	①
	14	11. 14(土)	②
	15	11. 21(土)	①
	16	11. 21(土)	②
	17	11. 28(土)	①
	18	11. 28(土)	②

※会計学は通信講座となります。
※合格基礎答練は通信講座となります。
※各科目全回数終了後に受講してください。

■鑑定理論演習対策講座

9月生			
生クラス			
編	回数	10:00~12:30① 13:30~16:00②	
講義編	1	2026. 9. 12(土)	①
	2	9. 12(土)	②
	3	9. 19(土)	①
	4	9. 19(土)	②
	5	9. 26(土)	①
	6	9. 26(土)	②

※答練編は通信講座となります。全回数終了後に受講してください。

■合格基礎講座

5月生			
生クラス			
科目	回数	19:00~21:30③	
民法	1	2026. 5. 27(水)	③
	2	6. 3(水)	③
	3	6. 10(水)	③
	4	6. 17(水)	③
	5	6. 24(水)	③
	6	7. 1(水)	③
	7	7. 8(水)	③
	8	7. 15(水)	③
	9	7. 22(水)	③
	10	7. 29(水)	③
	11	8. 19(水)	③
	12	8. 26(水)	③
	13	9. 9(水)	③
	14	9. 16(水)	③
	15	9. 30(水)	③
	16	10. 14(水)	③
	17	10. 21(水)	③
	18	10. 28(水)	③

■必修論点総ざらい講座

2月生			
生クラス			
科目	回数	10:00~12:30① 13:30~16:00②	
会計学	1	2027. 2. 6(土)	①
	2	2. 6(土)	②
	3	2. 13(土)	①
経済学	1	2. 13(土)	②
	2	2. 20(土)	①
	3	2. 20(土)	②
鑑定理論	1	2. 27(土)	①
	2	2. 27(土)	②
	3	3. 6(土)	①
	4	3. 6(土)	②
	5	3. 13(土)	①
民法	1	3. 13(土)	②
	2	3. 20(土)	①
	3	3. 20(土)	②

- テキストはご自宅よりご持参ください(答練・模試を除く)。
- 通学スケジュールが終了している科目は、Web・音声DL・DVDでご受講ください。
- 実施スケジュールは、事前の予告なく変更または中止する場合があります。また、参加人数が5名以下の場合はやむを得ず他の受講形態へ変更または中止する場合があります。予めご了承ください。
- 欠席した場合の配布物の受領可能期間は当該実施日を含めて1ヶ月間とし、それ以降はお渡しできません(LEC申込規定第9条5項)。

■論文実戦答練

12月生			
生クラス			
科目	回数	10:00~13:00① 14:00~17:00②	
会計学	1	2026. 12. 12(土)	①
	2	12. 19(土)	①
	3	12. 26(土)	①
経済学	1	12. 12(土)	②
	2	12. 19(土)	②
	3	12. 26(土)	②
鑑定理論	1	2027. 1. 9(土)	①
	2	1. 9(土)	②
	3	1. 16(土)	②
	4	1. 23(土)	②
	5	1. 30(土)	②
民法	1	1. 16(土)	①
	2	1. 23(土)	①
	3	1. 30(土)	①

■論文中答練

4月生			
生クラス			
科目	回数	10:00~13:00① 14:00~17:00②	
鑑定理論	1	2027. 4. 3(土)	①
	2	4. 3(土)	②
	3	4. 10(土)	②
	4	4. 17(土)	②
	5	4. 24(土)	②
民法	1	4. 10(土)	①
	2	4. 17(土)	①
	3	4. 24(土)	①
会計学	1	5. 22(土)	①
	2	5. 29(土)	①
	3	6. 5(土)	①
経済学	1	5. 22(土)	②
	2	5. 29(土)	②
	3	6. 5(土)	②

■全日本論文公開模擬試験

全2回			
解説Web/DVD			
回数	実施日時		
1	2027. 6. 19(土)	2027. 6. 20(日)	
2	2027. 7. 3(土)	2027. 7. 4(日)	
科目	10:00~12:00		
	民法	鑑定理論(論文)	
	13:30~15:30		
	経済学	鑑定理論(論文)	
16:00~18:00			
会計学	鑑定理論(演習)		

模擬試験実施本校

水道橋本校/富山本校/金沢校/
名古屋駅前本校/
梅田駅前本校/京都駅前本校/
神戸本校/岡山本校/広島本校/
福岡本校/長崎駅前校

2027年受験向け 通信クラス スケジュール(論文対策)

講座名	科目	主な教材	Web配信・音声DL・ 教材発送開始日	論文答案提出 一次〆切(目標)	論文答案提出 最終〆切(必着)
鑑定理論・論文ブリッジ講座 (全4回)	鑑定理論	合格基礎テキスト 論文ブリッジテキスト 「こう書け！」	2026.2.26(木)		-
合格基礎講座 (全54回)	経済学 (18回)	合格基礎テキスト 合格バイブル 「こう書け！」	2026.3.26(木)		
	会計学 (18回)	合格基礎テキスト 「こう書け！」	2026.4.9(木)		-
	民法 (18回)	合格基礎テキスト 民法条文集 「こう書け！」	2026.4.23(木)		
合格基礎答練 (全8回)	鑑定理論 (2回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子	2026.2.26(木)	2026.12.11(金)	2027.7.2(金)
	経済学 (2回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子	2026.3.26(木)		
	会計学 (2回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子	2026.4.9(木)		
	民法 (2回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子	2026.4.23(木)		
鑑定理論演習対策講座・講義編 (全6回)	鑑定理論	演習対策テキスト	2026.3.26(木)	-	
鑑定理論演習対策講座・答練編 (全2回)	鑑定理論	問題用紙・解答用紙 解説冊子		2026.12.11(金)	2027.7.2(金)
論文実戦答練 (全14回)	会計学 (3回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子	2026.10.29(木)	2027.1.8(金)	2027.7.2(金)
	経済学 (3回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子			
	鑑定理論 (5回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子	2026.11.26(木)	2027.2.5(金)	
	民法 (3回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子			
必修論点総ざらい講座 (全14回)	会計学 (3回)	必修論点 総ざらいテキスト	2026.12.24(木)	-	
	経済学 (3回)	必修論点 総ざらいテキスト			
	民法 (3回)	必修論点 総ざらいテキスト	2027.1.28(木)		
	鑑定理論 (5回)	必修論点 総ざらいテキスト			
論文的中答練 (全14回)	鑑定理論 (5回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子	2027.3.11(木)	2027.5.21(金)	2027.7.2(金)
	民法 (3回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子			
	会計学 (3回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子	2027.4.22(木)	2027.6.18(金)	
	経済学 (3回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子			
全日本論文公開模擬試験 (全2回)	第1回目	問題用紙・解答用紙	2027.6.3(木)	2027.6.18(金)	
		解説冊子	2027.6.17(木)		
	第2回目	問題用紙・解答用紙	2027.6.17(木)	2027.7.2(金)	
		解説冊子	2027.7.1(木)		

◎論文対策 Web配信・音声DL期限: 2027.12.31(金)

- 各講座各科目のWeb配信・音声DL・教材発送開始日に、全回数分まとめて配信・発送します。
- 論文答案の提出(一次〆切)は、LECが推奨する提出日(目標)です。できるだけこの一次〆切に間に合うように学習計画を立ててください。
- 論文答案の提出(最終〆切)は、LEC必着日です。これ以降に到着したものは原則として成績処理・添削ができません。
- 教えてチューターやスコアオンライン等のフォロー制度の期限は、Web配信・音声DL期限に準じます。

【Web 講座の視聴期限・成績表や添削答案の閲覧期限】

Web 視聴/音声DL/スマホ視聴期限・成績表や添削答案の閲覧期限は、以下の通りです。

論文対策講座：2027年12月31日（金）まで

【教えてチューター】

コース受講生には、ネットから講師に直接質問できる「教えてチューター」が標準装備されています（回数制限なし）。

質問の受付期限は、Web 講座の視聴期限に準じます。

ご回答には、1週間～2週間程度かかります。また、年末年始・夏季休暇時期はさらにお時間を要する場合があります。

【レジュメ・講義板書について】

講座や科目によってはレジュメ・講義板書等がつくものがあります。

【お知らせ・訂正情報等について】

講座や教材についてのお知らせ・訂正情報等は下記不動産鑑定士サイト内のページよりご確認ください。

<https://www.lec-jp.com/kanteishi/info/teisei/>



【欠品および画像の不良など】

万一、教材に欠品がある、画像や音声に不良があるなどの場合は大変お手数ですが下記までご連絡ください。

不良の程度が著しく、学習上支障をきたすと認められる場合は、お取替えさせていただきます。

LEC東京リーガルマインド コールセンター

0570-064-464（ナビダイヤル）

固定電話・携帯電話共通（PHS・IP電話からはご利用できません。）

受付時間：平日/9:30～19:30 土・日・祝/10:00～18:00

※通話料金はお客様負担となります。予めご了承ください。

【メモ】

「答練・模試」受講上の注意事項

【論文式対策】

1. 概要

◎「合格基礎答練」

講義時間：各科目 各回 約 50 分

解答時間：各科目 各回 60 分

問題数：各科目 各回 1 問

出題範囲：前半の講義内容を踏まえた問題

解説講義：各科目 各回 約 20 分

◎「鑑定理論演習対策講座・答練編」

解答時間：各回 120 分

問題数：各回 1 問

出題範囲：講義編の内容を踏まえた問題

解説講義：各回 約 50 分

◎「論文実戦答練」

解答時間：各科目 各回 120 分

問題数：各科目 各回 2 問 ※鑑定理論・演習は 1 問

出題範囲：出題範囲指定

解説講義：各科目 各回 約 50 分

◎「論文中答練」

解答時間：各科目 各回 120 分

問題数：各科目 各回 2 問 ※鑑定理論・演習は 1 問

出題範囲：全範囲

解説講義：各科目 各回 約 50 分

◎「全日本論文公開模擬試験」

解答時間：各科目 120 分 ※鑑定理論は、論文 120 分×2、演習 120 分

問題数：各科目 2 問 ※鑑定理論は、論文 4 問、演習 1 問

出題範囲：全範囲

解説講義：各科目 約 30 分 ※鑑定理論は、論文 約 30 分×2、演習 約 30 分

2. 答案作成時の注意

- ① ボールペンまたは万年筆（黒インクまたは青インク）を使用してください。それ以外の筆記具で答案を記載した場合は、無効となります。消しゴム等で消えるボールペンの使用は禁止しております。
- ② 修正液は使用できません。訂正する場合は、二重線を引くなどして訂正してください。
- ③ 解答用紙の余白、得点欄やコメント欄は、必ず空白のままにしてください。質

問などは「教えてチューター」（コース生のみ）を利用してください。

- ④ 解答用紙の記入事項（受講地・氏名・受講証番号・科目・回数・問題番号等）は、必ず全て記入してください。
- ⑤ **会計学と鑑定理論（演習）は、電卓の使用が認められています。また、**経済学・会計学・鑑定理論（演習）は、専用の解答用紙（合格基礎答練を除く）にて解答してください。****
- ⑥ テキストや解説レジュメ等を参照して解答を作成した場合や、制限解答時間を超えて解答を作成した場合は、解答用紙 1 頁右上のチェック欄にチェックを入れてください。添削の際に参考とします。
- ⑦ 論文免除科目につきましては、国土交通省が取扱方法について具体的に発表していないため、平均点を付与する等の特別な対応を行っておりませんので（0点として取り扱います）、解答用紙を提出する必要はありません。

3. 答案の提出方法

【通学】解答終了後、受講地で解答用紙を提出してください。

【通信】解答の上、解答用紙を期日までに郵送してください。

4. 答案の返却方法

採点した添削答案は My ページ スコアオンライン上でご覧いただけます。閲覧には必ず My ページへの登録が必要です。

郵送返却オプションをお申込の方には、郵送にて添削答案を送付します。

なお、模試を除く各種答練では、講評および総合成績表の発行はございませんが、公式ブログ (<http://leckanteishi.blog.fc2.com/>) や My ページ内にて、通学クラスの平均点・最高点・順位・講評等を随時 UP します。

5. 合格答案の My ページ スコアオンライン上 UP（全日本論文公開模擬試験のみ）

添削した答案の中から、合格答案として各科目 1 通選択し、総合成績表とともに My ページ スコアオンライン上に UP します。その際は、お名前等を伏せて、個人が特定できないように十分配慮します。

合格答案とは、実際の本試験において、一般的な合格者なら十分解答可能な記述量・記述内容で、合格点 + α であると推測される答案を言います。優秀答案ではありません。

6. 答案添削の最終締切日

提出期限は、**2027 年 7 月 2 日（金）（必着）** です。

《全日本論文公開模擬試験 第 1 回のみ、2027 年 6 月 18 日（金）（必着）》

期限を過ぎてから提出された場合は、原則として添削ができません。

（注）通学クラスにて受講される場合、問題冊子・解説冊子等の配布物は、通学クラス実施本校にて、通学クラスの実施日に配布いたします。

なお、通学クラスの実施日に欠席された場合は、実施日を含めて 1 ヶ月間、通学クラス実施本校にて配布物を受け取ることができます。

【メモ】

Web 講座



OnlineStudy SP

- 1) Web講座の受講方法 2ページ～
- 2) スマホ講座の受講方法 4ページ～

LEC Myページのご案内



資格取得をサポートする便利なサービス「LEC Myページ」。

講義を受けたり、模擬試験を受けたり、LEC各種サービスをご利用するために、便利な機能・情報が1カ所に集まった、あなたの専用ページです。

ご購入履歴・GO!GO!ポイントの確認、お客様情報の変更などの各種お手続きをLEC Myページ上で行うことができます。

割引クーポンの入手、試験情報など、うれしい特典が満載!

とっても便利!もちろん登録料・利用料ともに無料です!

Myページ ログイン情報記入欄

会員番号 (Lカード番号)

MyページID

パスワード

- ※書き留めて頂くことをお勧めします。
- ※会員番号は受講証に記載されています。
- ※MyページID・パスワードはStep2(2ページ)で登録します。

⚠️ ご利用上の注意事項

■講座の視聴期間について

- Web講座の視聴期間は、スケジュール冊子にてご案内しております。また視聴日数が予め指定されている講座の場合は、その視聴日数の最終日までとなります。
- 視聴開始日より前、視聴終了日より後にはご受講いただけませんのでご注意ください。
- 「LEC本校」でお申込み頂いた場合は、申込手続完了後、すぐにご受講いただけます。
※「オンラインショップ」でお申込み頂いた場合は、「発送のない商品」をお申込みの場合に限り、申込手続完了後、すぐにご受講いただけます。それ以外のお申込みの場合は、受講証の到着をお待ちください。

■お問合せ・よくある質問について

その他、ご不明な点がございましたら「お問合せ・よくある質問」をご覧ください。
「お問合せ・よくある質問」 ⇒ <https://www.lec-jp.com/system/soudan/>

■OnlineStudySPの動作環境について

端末の環境によっては、動作環境を満たされていてもご利用いただけない場合がございます。必ず「動作環境チェック」の項目にある「デモ体験」を行い、実際にWeb学習システムがご利用いただけるかご確認ください。
詳しくは「OnlineStudySP動作環境のご案内」をご覧ください。
<https://www.lec-jp.com/onlinestudy/check/>

■ダウンロードデータについて

- データのダウンロード、およびダウンロードしたコンテンツに関するお問い合わせ期限も、お申込みいただいた講座の視聴・配信期限までとなります。
- スマートフォン、タブレットにダウンロードしたデータは、機種変更時などでも新しい端末にデータを引き継ぐことができません。
- 音声データをダウンロードし、複数の端末でご利用になる場合は、パソコンにて音声ダウンロードを行いご活用ください。

Web講座の受講方法



Web講座の受講開始までの流れは以下の通りです。

Step1 お申込み ⇨ **Step2** Myページ 会員登録 ⇨ **Step3** Myページへ ログイン ⇨ **Step4** 講座の受講方法

Step1

お申込

LEC各本校の他、オンラインショップ、コールセンターでもお申込みいただけます。

[通学・通信・書籍のお申込み] LEC本校(全校学校案内) <https://www.lec-jp.com/school/>

オンラインショップ <https://online.lec-jp.com/>

[通信・書籍のお申込み]

コールセンター ナビダイヤル **0570-064-464** (PHS・IP電話からはご利用できません)

受付時間 平日/9:30~19:30 土・日・祝/10:00~18:00

Step2

Myページ会員登録

Myページを初めてご利用になる場合に限り、Myページ会員登録が必要です。

※既にMyページ登録(MyページID取得)が済んでいる方は、Step3にお進みください。

① LECのホームページにアクセスしてください。

<https://www.lec-jp.com/>

右のような画面が表示されます。

画面上部の「Myページログイン」をクリック！



② 「Myページログイン」画面に変わったら、

「Myページ登録」欄にある「登録する」ボタンをクリック！



③ 会員登録画面が表示されたら、

「会員番号」と「メールアドレス」を入力して、
「お客様情報を検索」ボタンをクリック！

登録いただいたメールアドレスに、メールが送信されます。



参考

「認証エラーです。」と表示された場合

表示された項目(青枠内)をご確認ください。

エラーが改善しない場合は、「お客様情報更新」画面からお客様情報の更新を行なってください。

お客様情報を検索

認証エラーです。以下の点をご確認ください。

- ・ご入力いただいた情報に誤りはありませんか？
 - 入力内容や半角・全角、スペースなどに注意して今一度お試しください。
- ・既にMyページ登録がお済ではありませんか？
 - MyページID・会員番号・パスワードをお忘れの方はこちら
- ・以上の点に当てはまらない場合は、こちらからお客様情報を最新の情報に更新してください。
 - >> お客様情報の更新 [ここをクリック](#)

④ メールを確認します。

本文に記載されたURLから、登録画面を開く。

⑤ 会員登録画面が表示されたら、

画面上のご案内に沿ってお客様情報を登録する。

※MyページID・パスワードはご自身で設定いただけます。

※ご登録いただいたMyページID・パスワードは、メモしていただく等、お忘れにならないようご注意ください。本手帳の表紙の記入欄をご利用いただくことをお勧めいたします。

⑥ 必要事項を入力後、「上記規約に同意のうえ確認」ボタンをクリックすると、確認画面が開くので、

登録内容を確認して、「登録」ボタンをクリック！

以上でMyページの会員登録は終了です。

Step3 Myページログイン

① LECホームページより再び、「Myページ」のログイン画面を開きます。(Step2-①参照)

② 「Myページ」のログイン画面に変わったら、

Step2で取得したMyページIDとパスワードを入力し、ログインボタンをクリック!! (会員番号とパスワードの組み合わせでもログインできます)

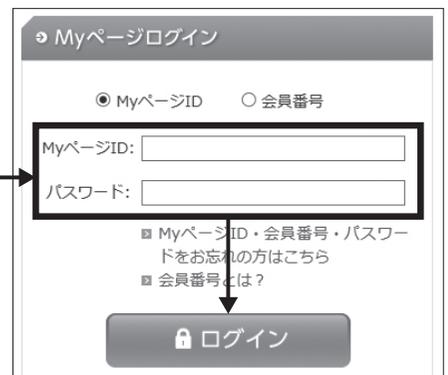
※「会員番号」を利用してログインを行う場合は、上部のラジオボタンで「会員番号」を選択してください。

※注意

「全角/半角」・「大文字/小文字」を間違えたり、文字の前後にスペース(空白)が入力されていると、正しく認識されません。

※MyページID・パスワードについてのお問い合わせは、メールやお電話ではお答えできません。詳しくは下記ページをご確認ください。

【MyページID・パスワードのご請求について】https://online.lec-jp.com/statics/guide_pass.html



③ ログイン後、画面上部にある

「Web受講(OnlineStudySP)」をクリック!



Step4 講座の受講方法

講座のご受講方法(動画の再生・音声データのダウンロード・PDFの閲覧)は「OnlineStudySPご利用ガイド」をご確認ください。

【OnlineStudySPご利用ガイド】<https://www.lec-jp.com/onlinestudy/>

スマホ講座の受講方法



スマホ講座の受講開始までの流れは以下の通りです。

Step1 お申込み ⇨ Step2 Myページ 会員登録 ⇨ Step3 ログイン ⇨ Step4 講座の受講方法

Step1 お申込み

Step2 Myページ会員登録



「Web講座の受講方法(2ページ)」の
「Step1」「Step2」の項目をご参照ください。
※この操作はパソコンからでも行えます。

Step3 ログイン

※この操作はスマートフォンより行ってください。

① スマホ講座ログイン画面にアクセスしてください。

<https://study.lec-jp.com/spn/>

スマホ講座ログイン画面へ▶



右下のような画面が表示されます。

② ログイン画面に

「会員番号(Lカード番号)」と「パスワード」を入力し、ログインします。

※「MyページID」ではログインできません。
「会員番号(Lカード番号)」でログインください。

ログイン▶

Step4 講座の受講方法

講座のご受講方法は「OnlineStudy SPご利用ガイド」をご確認ください。

「OnlineStudy SPご利用ガイド」

https://www.lec-jp.com/onlinestudy/guide_kougi_sm.html

LEC 東京リーガルマインド

お電話での申込み・講座のお問合せ
LECコールセンター



0570-064-464

〒164-0001 東京都中野区中野4-11-10

■ 平日 9:30~19:30 ■ 土・日・祝 10:00~18:00

www.lec-jp.com

※このナビダイヤルは通話料お客様ご負担となります。
※固定電話・携帯電話共通(一部のPHS・IP電話からのご利用可能)。
※回線が混雑している場合はしばらくたつてからおかけ直し下さい。

この広告物は発行日現在のものであり事前の告知なしに変更する場合があります。予めご了承下さい。発行日:2024年8月1日 / 有効期限:2025年3月31日 著作権者 株式会社東京リーガルマインド © 2024 TOKYO LEGAL MIND K.K., Printed in Japan 無断複製・無断転載等を禁じます。 XV2407182

不動産鑑定士
2027年合格目標
論文初学者対象講座
受講ガイド

(FU27002)

著作権者 株式会社東京リーガルマインド

(C) 2026 TOKYO LEGAL MIND K. K., Printed in Japan
無断複製・無断転載等を禁じます。